

瑠璃



彼杵中学校
校長 川内康範

学習発表会・合唱コンクール

生徒たちの今を表現

参観ありがとうございました。



生徒たちの美しいハーモニイがホールいっぱいに響き渡りました。学級一丸となつて一生懸命に取り組む姿はすばらしかったと思います。生徒たちは協力して作り上げる喜びを知りました。この貴重な経験は、今後の活動にきつと生かされると思います。また、吹奏楽部の皆さん、楽しくて素敵な演奏をありがとう。実行委員の皆さんは、スムーズに進行をしてくれていました。お疲れさまでした。午後からは教科で取り組んだ作品を鑑賞しましたが、日頃の授業などで頑張っている成果がよく出ていたと思います。参観いただいた皆様、ありがとうございました。会場は中学生がたくさんのことを学ぶ場になりました。同時に、参観いただいた皆様も、東彼杵町の子どもたちの歌声を聞いて感動したりパワーをもらったりされたのではないのでしょうか。このような場こそが、コミュニテ

イ・スクールの姿だと考えます。今後とも皆様の応援をよろしくお願いします。

1年生、坂本浮立奉納会に参加



21日(日)、坂本地区の皆さんには大変お世話になりました。当日参加した生徒たちは、何百年と変わらずに受け継がれている民俗芸能を肌で感じることができました。また、大學生の沖繩エイサー踊りを見たことも、視野を広げることにつながりました。

実際には、地域行事を運営していくことは決して楽しいばかりではないと思います。川添さんは「続けていくのは大変だけど、やる意味はある。」と力強くおっしゃっていました。笛づくりの指導、演奏の指導など半年にわたって本当にありがとうございました。郷土を思う川添さんの気持ちは、若い子どもたちに受け継がれていくものと信じています。



立ち役をしているのは、佐藤来紀君(2年生)と釜坂悠陽君(1年生)です。



個人的な話ですが……

大人の道徳の時間です。

夏休み期間中の私のできごとです。家族で福岡市に買い物に行きました。私は、家族とは別行動をして、ある店の文房具売り場で蛍光ペンなどを5点買いました。店はたいへん混雑していて、レジにも行列ができています。しばらく並んで、レジを済ませました。その時、「あれっ、思ったより安いなあ。」とちよつと頭をよぎりましたが、持ち合わせの場所に行かなくちゃと思い、すぐエスカレーターに乗りました。エスカレーターで移動しながら、頭の中でちよつと冷静になつて考えました。「あれとあれとあれと……」考え直してみると、やっぱり安すぎるような気がします。気になったので、エスカレーターを降りて、レシートと品物を確認してみました。すると、1点だけレシートに記載されていない品物があつたのです。つまり、その分安くなつていたので。うーん、どうしようかなあ。また、レジまで戻らんばかなあ。自分のミスではないし、気づかなかつたことにして、このままやり過ごすこともできるよなあ。正直な話、私の心は揺れ動きました。迷いました。皆さんだったらどうしますか? 何度も言いますが、本当に私は迷いました。(私がどういう行動をとったかは次回話します。)

わかりにくいですが、左奥で1年生が笛を吹いています。